

研究タイトル：環境水評価と汚染対策について



氏名：	田中一浩 / TANAKA Kazuhiro	E-mail：	kztanaka@nagaoka-ct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(学術)
所属学会・協会：	土木学会、水環境学会		
キーワード：	水道水、地下水、河川水、衛生工学、上水道、リサイクル、廃棄物		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・水質評価の技術 ・水質汚染評価の技術 ・水質汚染対策の技術 		

研究内容：

浄水過程で使用される塩素は原水中の有機物と反応し、トリハロメタン等の有機ハロゲン化合物となります。これは、人間の健康に直接影響する重要な問題です。

上水道の水源として表流水が多く利用されており、その割合は年間総取水量の約7割に及びます。河川には、多種・多量の排水が日常的に流れ込み、河川を水源とする水道水質を悪化させています。

安全な飲料水を供給するための手段として、現在とられている対策としては、「浄水処理法の改善」・「水道水の原水水質を向上すること」の大きく分けて2つの方法が挙げられます。以下にテーマを列挙しました。

1. 水道水質に影響を与える要因
2. 水質の改善方法、技術的なもの、社会的なもの

原理、基礎を理解することが大切だと思います。

基礎を理解すれば、将来の技術の進歩・変化にも対応できると考えています。



廃棄物を利用した浄化実験

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	
イオンクロマトグラフ	dionex ICS-2100